＜記号の見方＞
難易度（その学校の受験生にとってのレベル） A･･･標準　　B･･･難しい　　C･･･とても難しい
要求される能力　A･･･処理能力（多量速解型学習で対応できる問題）　B･･･思考力（少量熟考型学習でないと対応できない問題）
目新しさ　A･･･普通　　B･･･目新しい　C･･･斬新

学校名　雙葉　時間40分				
	分野	難易度	要求される能力	目新しさ
大問1	計算	A	A	A
大問2　(1)	平面図形(周期)	A	A	A
(2)	平面図形	A	B	A
大問3	平面図形（複合図形）	A	B	A
大問4　(1)	割合	A	A	A
(2)	割合	A	A	A
大問5	割合と体積の複合問題	A	A	B
大問6　(1)	割合	A	A	A
(2)	割合	A	A	A

昨年度の問題との比較
レベル　↓↓↓　合否に必要な得点率75％

合格最低点　2002年　非公表　→　2003年　212／300

コメント
去年に比べるとずいぶんと易しくなりましたが、雙葉の受験生にはこれくらいのレベルの問題が適切だと思います。
大問1　計算問題が復活してしまいました。
大問2　単純な図形の周期の問題です。
大問3　半径は求められませんが、半径×半径が求められれば解ける問題は去年も出ました。
大問4　(2)に若干ひねりが加わっていますが、割合の単純な問題です。
大問5　題材は斬新ですが、単純な問題です。
大問6　単純な相当算です。(1)の導入なしに(2)を解くこともできます。

合否を分けた1題　大問4

Copyright © Tetsuya Miyamoto. All Rights reserved.